

(公財) 福島県国際交流協会では、震災からの復興に向けた取り組みや国際交流・協力団体の活動、外国出身県民の声など、福島県の「今」を多言語にてお伝えしています。

※本紙の翻訳版は、当協会 HP からダウンロードできます。



## Voices from Fukushima

今回の Voices from Fukushima は日系4世と中国系3世でカナダ出身の大屋直美さん(福島市在住)です。2015年から国際交流員として当協会や福島県国際課で翻訳や通訳、事業の運営など様々な仕事を担当してきました。この8月にカナダへ帰国するに伴い、福島での3年間の思い出や、現在の想いなどを伺いました。(取材日5月29日)

-ハッピーバースデー！2日前(※)に誕生日を迎えたばかりですね。誕生日はどう過ごしていましたか？(※取材時点)

ありがとうございます！誕生日は、友達とパーティをしました。遠くからも友だちがたくさん来てくれてとても楽しく過ごしました。

-直美さんは友達がたくさんいる印象があります。

元々友達の数には少なかったけど、福島で働き始めてから付き合いの幅が広がりました。出身国や考え方が違う人との出会いが増えたことによって、互いの違いを尊重しながら関係を築くことができるようになりました。

-3年間で一番思い出に残る仕事は？

グローバルコミュニティカフェ(略称:GCカフェ)には特別な思いがあります。GCカフェは、英会話の上級者が存分に話せる場を提供したくて企画をしました。バンクーバーで出会った日本人の友人たちが、帰国後、日本で英語を話す場所が身近になくて覚えた英語を忘れてしまうと言っていたのを思い出したからです。ただ、回を重ねるうちに私自身が会話の内容に深さを求めるようになりました。自分の考えを表現する方法や世界における自分の存在、といったことを参加者と共に考えたいと思いました。前からやりたかった料理教室をGCカフェで開催できたこともとてもいい経験です。

来日して最初に担当した仕事も印象に残っています。福島県のPR動画の字幕を翻訳する仕事でした。そのときは、今よりも日本語がわからなかったし、復興や道路、放射能

に関する知識もありませんでした。来日した直後だったので時差ボケもあって、この翻訳には苦労しました。この先、この仕事を務めていくことができるのだろうか？と不安になったことを覚えています。

毎回、その瞬間にできることを全力で取り組んできました。振り返ってみるともっと完璧にやれたかと思うこともありますが、この3年間は自分の人生に役立つ多くの貴重な経験がありました。

-福島へ赴任するにあたって放射能に対する不安はありませんでしたか？

私よりも母がとても心配しました。母は私が福島に行くことに猛反対でした。そのことで母と私は毎日のように喧嘩をしていました。その母も私の来日前に福島を訪れたことによって福島の影響をガラリと変えたようでした。去年は家族が福島に遊びに来てくれて、県産の野菜が食べられるビュッフェに案内し、みんなにとっても喜んでもらいました。

-出張で県内を回ることもあったと思います。避難区域に行ったときはどんなことを感じましたか？

とてもショックでした。恐怖、怒り、悲しみ…どの言葉もじっくりこないような、それまでに経験したことのない感情を覚えました。写真をFacebookにアップしようとしたけれど、どう表現したらよいかもわかりませんでした。福島県で採用されている自分の言葉には責任があると思ったし、福島の影響をけがすようなことをしたくなかったからです。そのときは1ヶ月ほど悩んで結局何も書くことができませんでした。



-福島について県外や海外の人に伝えたいことはありますか？

一度は福島を訪ねてみてほしいと思います。実際に訪れると誰もが「福島はすごくいいところ！」と感激します。以前、県外の友人から「福島の魚や野菜は食べるな」と言われたことがあります。ですが、彼女も福島に遊びに来たことで福島への印象が変わったようです。いまだに国内でも福島に対する誤解があると思うし、海外はもとより、国内の人たちにも福島県のことを知ってもらいたいと思います。

-福島県の人に伝えたいことはありますか？

震災の記憶が風化してきているいま、世界中のより多くの人に福島に関心を向けてもらいたいと思います。これまで福島の人々は、粘り強さと穏やかな気質で様々な努力をしてきました。ですがこれからは、自分たちに目を向けてもらうための積極性が不可欠だと感じています。

福島のみなさんにはたくさんの感謝の思いで溢れています。福島だからこそその経験が数多くありました。出会った方々に心からの感謝を伝えたいです。ありがとうございました。

## 東京五輪を見据え「日米対抗ソフトボール」あづま球場で熱戦

2020年東京五輪野球・ソフトボールの一部競技が開催される福島市あづま球場で6月23日(土)ソフトボール女子の国際親善試合が行われました。試合は、エース上野由岐子投手と主将山田恵里外野手らの活躍により、日本が2-0で競り勝ちました。約8千人の観客は、世界ランキング1位の米国と2位の日本による世界トップレベルのプレーに大きな歓声をあげていました。

この日は、県や市で五輪を見据えて呼びかけた各方面のボランティアが大会を支えました。言語ボランティアとして参加した福島市の女性は、「スター選手を一目見たい!と会場は活気に溢れていました。2020年にはぜひ海外のお客様にも試合を楽しんでいただきたいです」と五輪に向けた意気込みを語りました。

試合後は両チームによる記念撮影が行われ、大会は和やかなムードで締めくくられました。日本チームの宇津木麗華監督は「あづま球場は雰囲気良く、過ごしやすい球場です。こんなに大勢の福島の人たちが来てくれて大きな声援を送ってくれることにとっても感動しました」と述べ、上野選手は「五輪の開催場所で試合をしたことで、選手のみならず観客の皆さんも五輪を具体的にイメージできたと思います。ますます2年後が楽しみになりました」と語ってくれました。



## アメリカの若者が会津の伝統文化を体験

NPO法人会津国際女性協会は、国際交流に関心のある会津の女性のための活動や、アメリカと会津の子どもたちの文化交流・人材育成を行っている団体です。

今回はテキサス州ダラスから若者を招き、2泊3日のホームステイ、学校訪問、市内観光など、計5日間に渡る体験プログラムを実施しました。



参加者たちは、会津ザベリオ学園のなぎなた部見学や赤べこづくり、割烹料理や茶の湯体験など城下町会津ならではの伝統文化を大いに堪能しました。

滞在中、参加者同士で和装によるウエディングフォトを新婚カップルにサプライズプレゼントするという一幕も。

今年、会津若松市では「戊辰150周年記念事業」として様々な企画が展開されています。そんな中、参加者たちは会津の文化や歴史について深い理解を得ることができたそうです。



## 英語でポンデローサケーキづくり!

カナダのプリティッシュコロンビア大で発祥した「ポンデローサケーキ」は、バナナとチョコレート、シナモンが入った焼き菓子です。1960年に、「ポンデローサビル」の前にあるカフェが余ったバナナを消費するために考案したところ、人気に火がついて「ポンデローサケーキ」と呼ばれるようになったとか。



5月19日に開催された福島県国際交流協会の「Global Community Café ~Cooking Class Edition!!~」では、カナダ出身の国際交流員大屋直美がこのバンクーバー名物「ポンデローサケーキ」の作り方を英語で紹介しました。この日は15名の参加者と4名のゲストスピーカーが集まり、「もっとよく混ぜて!」「次は何をすればいい?」「オーブンの予熱をしないと!」などと英語で話しながら和気あいあいとお菓子作りを楽しんでいました。アメリカ出身のゲストスピーカーは「料理をしながらのクラスは普段とは違うコミュニケーションが起きるのでとても楽しかったです」と話していました。「ポンデローサケーキ」のレシピは当



## 多言語による復興情報「ふくしま復興ステーション」

福島県公式復興関連情報ポータルサイト「ふくしま復興ステーション」では、福島県の復興状況の最新データや食の安全・安心に向けた取り組み、福島を応援する方々の活動などを9言語(日本語・英語・中国語・韓国語・ドイツ語・フランス語・イタリア語・スペイン語・ポルトガル語)でお知らせしています。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/>



協会のホームページでご覧になれます。ぜひお試しください!

[http://www.worldvillage.org/files/news\\_release/files/2496\\_file01.pdf](http://www.worldvillage.org/files/news_release/files/2496_file01.pdf)

### ● FIA Information

外国出身者のための生活相談窓口

当協会では、外国語で外国出身者からの生活相談に応じています。

英語・中国語・日本語

毎週火曜日~土曜日

9:00~17:15

韓国語・タガログ語・ポルトガル

木曜日 10:00~14:00

※第4・5木曜日は事前予約が必要

☎024-524-1316

✉ask@worldvillage.org (相談専用)

### ● 発行者

(公財) 福島県国際交流協会

〒960-8103 福島県福島市舟場町 2-1 福島県庁舟場町分館 2階

TEL 024-524-1315 FAX 024-521-8308

E-mail info@worldvillage.org

URL <http://www.worldvillage.org>

SNSにて情報発信中! いいね! してね☆  
Facebook  
<https://www.facebook.com/fiainfo>  
Twitter  
[https://twitter.com/fia\\_info](https://twitter.com/fia_info)